

福知山地本NEWS

1月12日 西野方庸氏 安全の集いで講演

労働安全衛生の集いで講演

安全の集いで講演

一月十二日(木)福知山市内サンプラザ万助において、安全の集いを開催しました。第一部は、連合大阪労働安全衛生センター参与の西野方庸氏を招き、「労働安全衛生活動をどう進めるか」と題し、約90分にわたり講演会を開催。

安全活動の歴史や安全衛生委員会の役割、労働災害の起こる原因、労災を無くすにはどうしたらよいか等の貴重な話に、多くの組合員が、メモをとっていました。第二部は、「安全の集い」として、支部・分会・部会の代表者と、来賓の方々と交歓会を開催し参加者間の団結と、安全を誓い合いました。(御来賓は下記掲載)



(須藤委員長挨拶)

今年JR発足25年を迎える。そしてJR西労組も平成20年、福知山地本も平成4年1月12日に結成して本日で結成20年の節目を迎えた。山崎前社長の一審判決が神戸地裁であったが、福知山支社で働く者にとつて決して忘れてはならないのが余部鉄



元JR連合会長 葛野和明氏

橋での列車脱線事故だ。余部裁判は旧国鉄の組織的な安全管理態勢が裁かれ、安全軽視の体質に警告を發した意義深いものだった。多くの流された涙の一粒たりとも無駄にしてはならない。安全の確立を今年も運動の中心に据え安全第一、健康第一をモットーに北近畿の地から福知山地本から、元気が発信できるよう先頭に立つて奮闘する決意だ。

第15回京都駅ビル大階段駆け上がり大会

日..2月18日(土)
時..10時~
所..JR京都駅ビル4階 室町小路広場
出場選手(敬称略)
松井 正人..福知山支社分会
小森 沙祐実..篠山口駅分会
阿瀬 亮..福知山駅分会
高坂 優太..福知山車掌区分会

御来賓(敬称略)

第21回地本委員会

日..2月11日(土)
時..13時30分~
所..総建ビル5階会議室
(地本委員集まれ)

講演する西野方庸氏



労働安全衛生活動を どう進めるか

●安全と危険の狭間
放射線のリスクは回避しようとしても全ては防げないが、他のものは対策をとれば防げる。

●産業安全100周年
1912年古河鋳業足尾鋳業所所長、小田川全之が「安全専一」の表示板

●USスチール新工場のスローガン(1906年)安全第一、品質第二、生産第三

●労働安全規則
時代にそぐわない条文も「事業者は、適切な場所に、必要数のたんばを備えなければならない。」97年廃止

新成長戦略

●労働災害発生件数3割減
昭和47年労働安全衛生法制定で半減、最近の減少原因はリスクアセスメントの成果。

●問題点の発見
「運が悪かった。」ではない。問題意識のずれを直して。

●人間だからヒューマンエラーがあるが、少なくすることは出来る
●ミルグラム実験・アイヒマンテスト
電気ショックを与える命令に62%が最後まで続行。安全・生産どちらの大義を上司が示すか。

●安全衛生委員会とは
調査・審議を行い、事業者に対して勧告。事業者が活動する。半数は労働組合推薦の委員。

●リスクアセスメントは簡単
「職場の危険探しをやりましょう。」でいいのでは?

●即効性の安全ある衛生活動がリスクアセスメント



福知山地本 結成20年 初代委員長 古林勝巳氏



連合京都事務局長 西村英二氏(第二代委員長)

